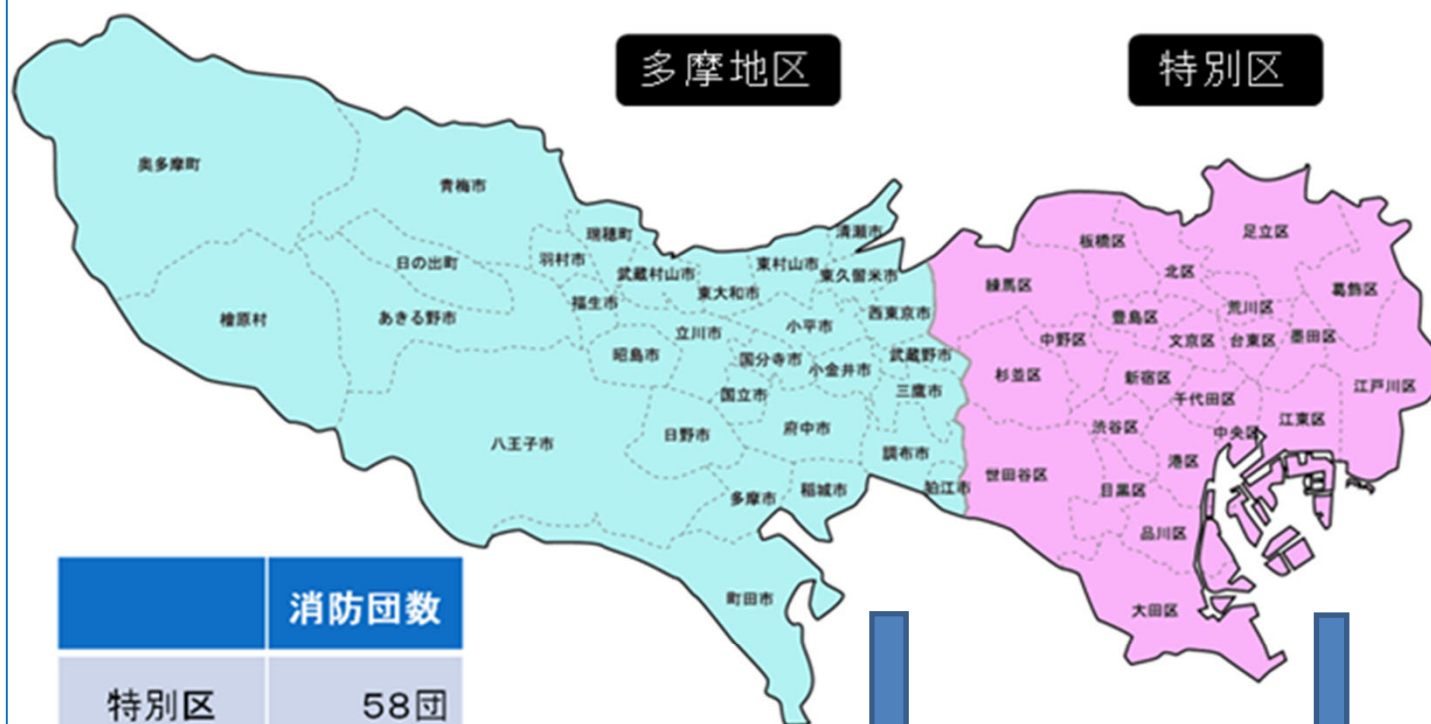


東京の消防団



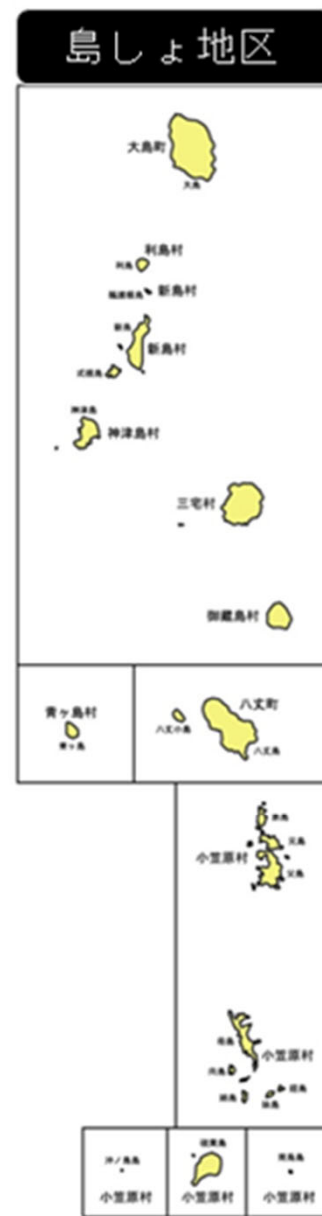
東京都内消防団の受持ち区域図



	消防団数
特別区	58団
多摩地区	30団
島しょ地区	10団
合 計	98団

事務＝各市町村

事務＝東京消防庁



東京都の消防団の現勢

(令和2年4月1日現在)

	消防団	定員等	年額報酬等
特別区	58団 (439分団)	16,000人 (現員13,290人) (充足率83.1%)	年額報酬(団員): 42,500円 費用弁償: 4,000円/回
多摩地区 (受託地区)	29団	8,859人 (現員7,541人)	各市町村の条例による
多摩地区 (受託外)	1団	207人 (現員170人)	
島しょ地区	10団	1,587人 (現員1,076人)	
計	98団	26,653人 (現員22,077人)	

特別区消防団の資機材、車両、施設等



可搬ポンプ積載車



分団本部施設
(概ね80m²級)



可搬ポンプ



自動体外式
除細動器 (AED)



トランシーバー



チェーンソー



切創防止用保護衣



電光標示器
(発電機付)

年間行事①

1月

消防団始式

新年を迎え、地域の安全・安心を祈願するとともに、消防団員等に対する表彰を行います。



5月

消防操法大会

6月

各消防団で可搬ポンプ操法技術や救助技術を競い合います。なお、10月には、都内の代表消防団が操法技術を競い合う東京都消防操法大会を行います。



9月

総合防災訓練

東京都の総合防災訓練や各地域で行う防災訓練に参加し、応急救護指導や、初期消火訓練の指導を行います。



年間行事②

10月

消防団点検

日頃の訓練成果を確認するとともに、地域住民の皆様に消防団の活動を紹介しています。



12月

年末消防特別警戒

各消防団で繁華街や重点区域の警戒を行います。地域に密着した消防団の重要な活動です。



通年

消防団員募集活動

1年を通じて消防団員募集活動を行います。



その他の行事

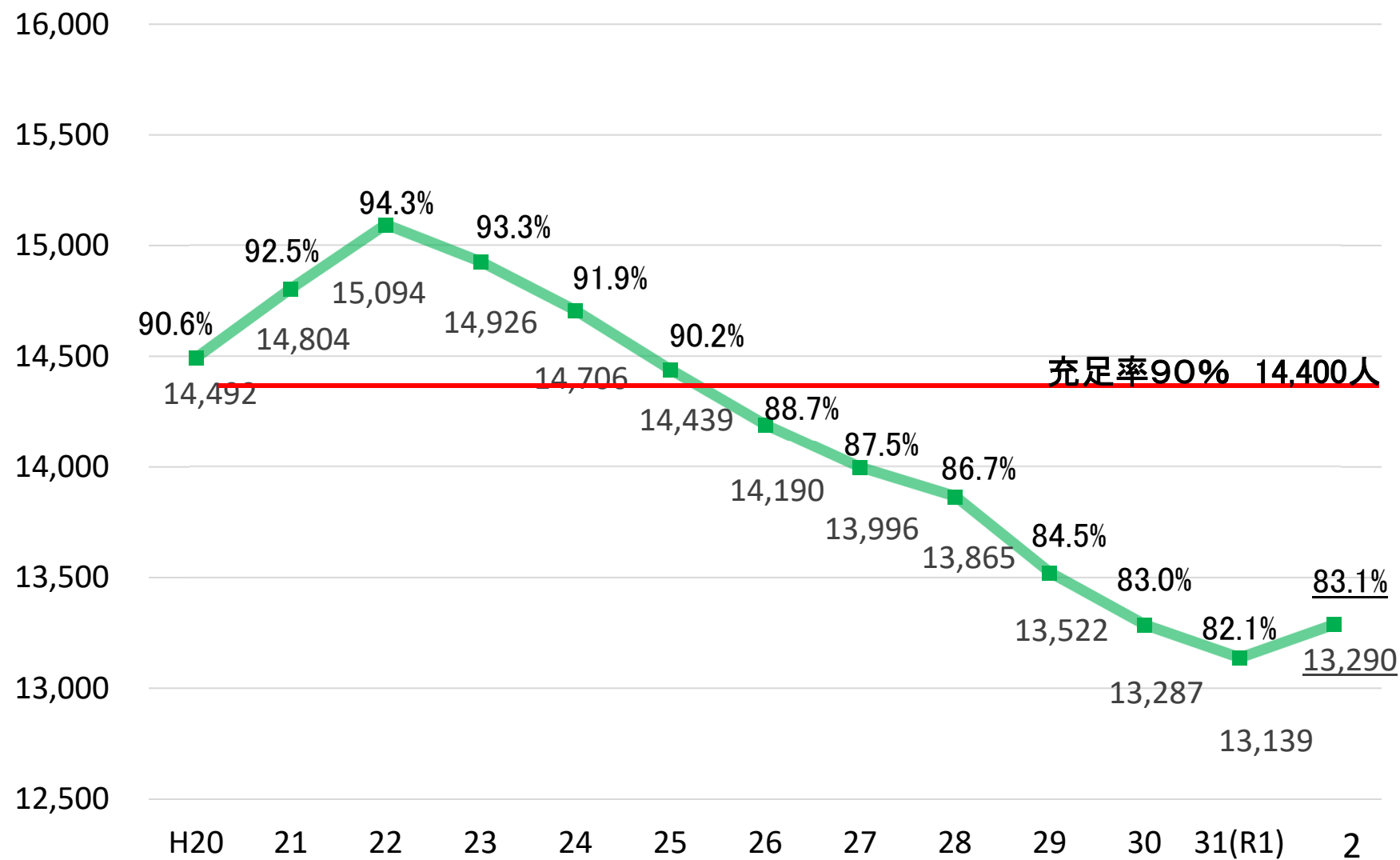
●水防訓練(5～6月) ●祭りなどの警戒(7～8月) ●震災訓練(11月) など

消防団員出場状況

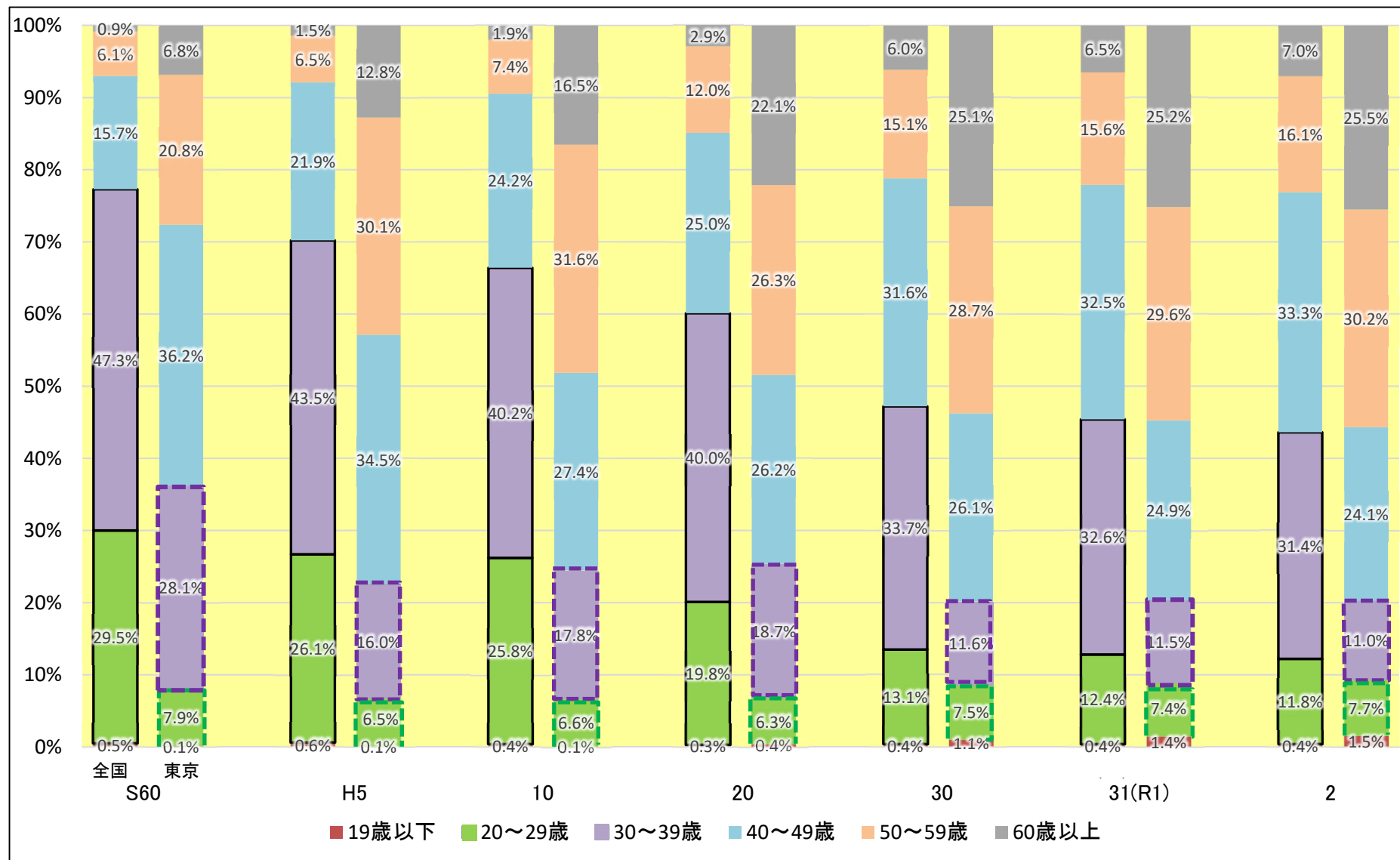
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
火災	回数	1,072	1,210	1,125
	人員	5,205	5,281	<u>4,936</u>
水災	回数	8	64	125
	人員	24	281	<u>647</u>
その他の災害	回数	566	530	673
	人員	1,656	1,641	<u>2,071</u>
予防警戒	回数	16,509	19,012	17,348
	人員	106,617	119,277	108,634
教育訓練	回数	24,693	25,504	25,421
	人員	248,347	238,849	231,645
機械整備	回数	8,430	8,233	7,970
	人員	22,933	22,568	20,048
計	回数	51,278	54,553	52,662
	人員	384,782	387,897	367,990

その他の災害 = 救助、危険排除等

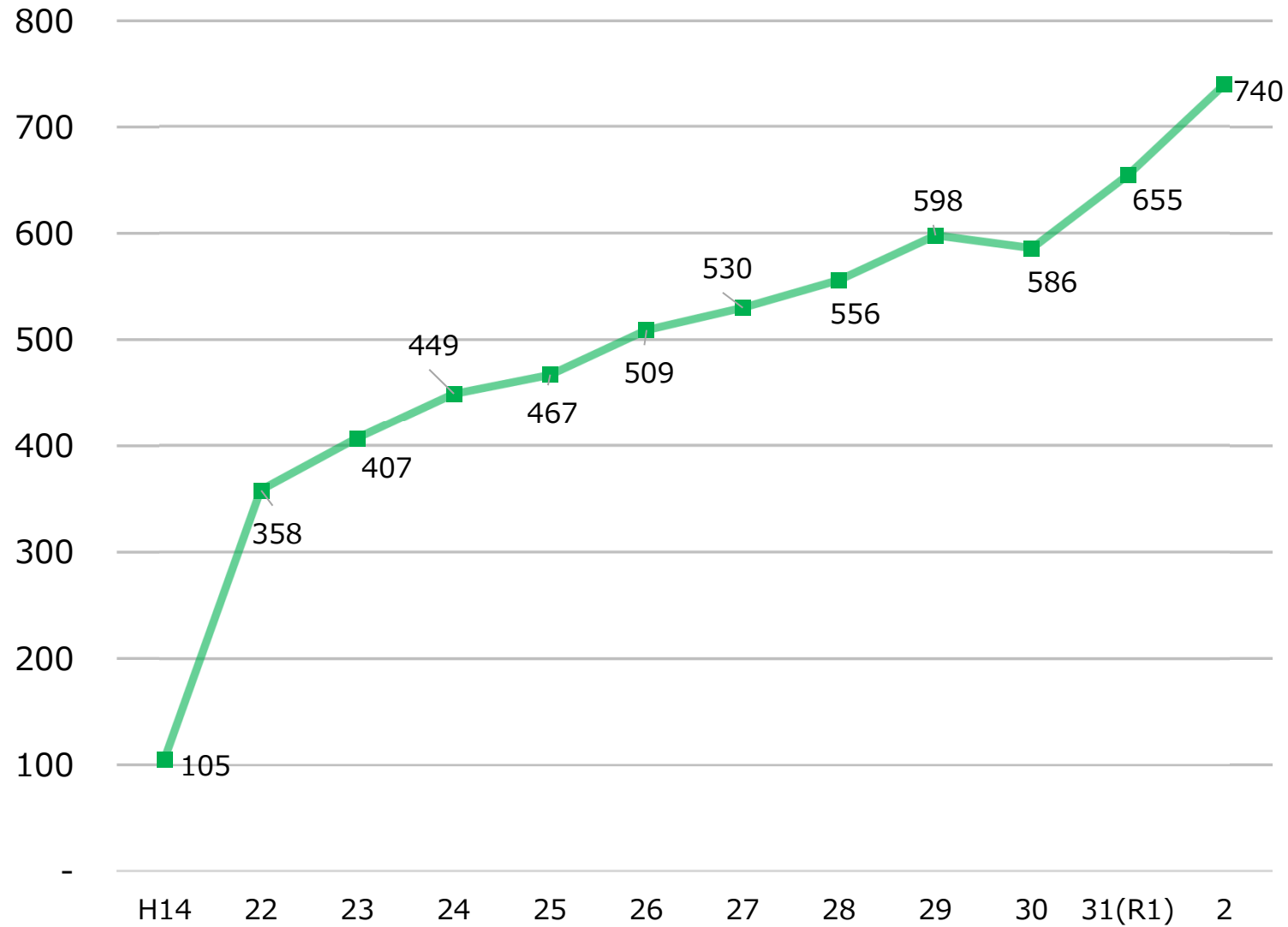
特別区消防団 充足率の推移



消防団員数の推移(全国及び東京都特別区)



特別区消防団 学生団員数の推移



学生消防団員 奏功事例

A消防団

・「学生リーダー」を指定

→消防団活動への質問や相談を受けるなど、学内入団希望者の世話役として入団促進に大きく貢献している。

・入団促進ガイダンスの実施

→学生リーダーが中心となって実施

・協力事業所に認定

→学校側からも積極的な入団促進



毎年25人程度の入団者を確保

B消防団

・看護師養成学校の特性活かした入団促進

→応急救護訓練指導で学生自身のスキルアップ

・学校行事としての入団促進説明会

→地域貢献を目的として、学校側から積極的に実施



毎年60～70人程度の
入団者を確保

→退団者(卒業生)を新入学生で補充するサイクル

入団促進方策

声掛けを中心とした募集活動

各消防団で四半期に1回以上、知人や友人への声掛けを中心とした募集活動を実施



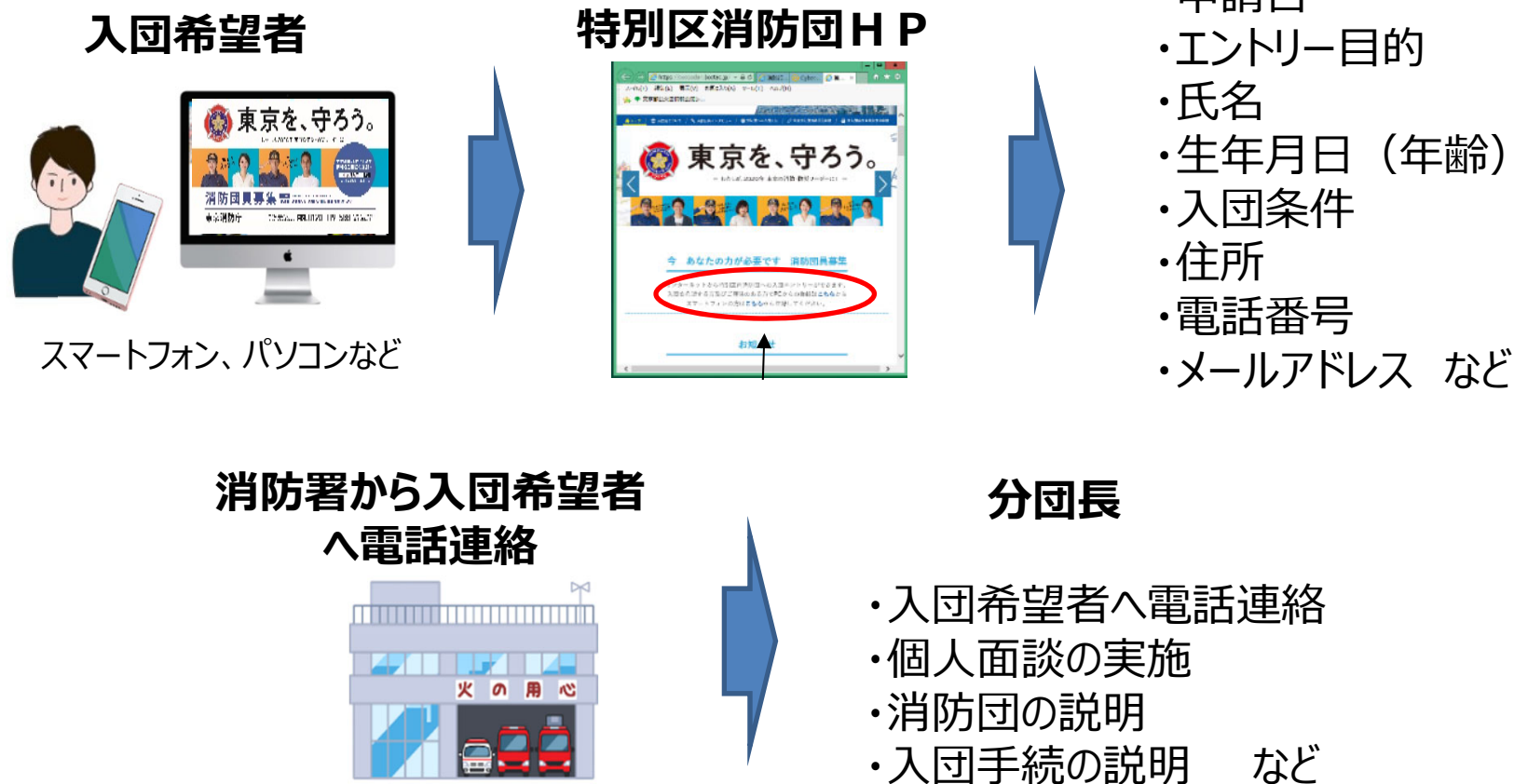
機能別団員（団員募集の広報に特化した団員）による声掛け

入団促進方策

東京消防団エントリーシートの導入

スマートフォンなどのインターネット環境を通じて、
時間を気にせず、いつでも簡単に入団へのエントリー

入団手続きまでの流れ



入団促進方策

東京消防団エントリーシート分析結果

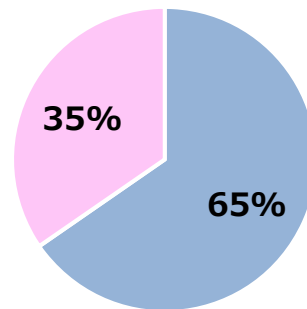
令和2年10月1日から運用開始

10月及び11月の登録件数26件、入団手続き中20件 入団率76%

1 登録者性別

男性 17名
女性 9名

男女別

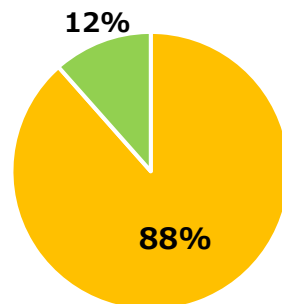


■ 男性 ■ 女性

2 活動形態

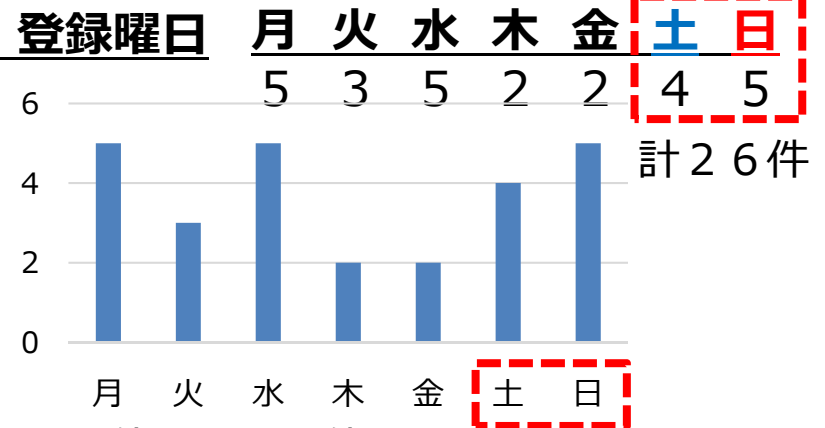
居住 23名
勤務・通学 9名

活動形態



■ 居住地 ■ 通勤・通学

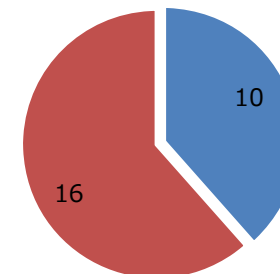
3 登録曜日



土日9件→入団5件

4 時間外(17時00分～翌9時00分)

登録10件→入団手続き9件



■ 時間外 ■ 時間内

機能別団員の拡充例

1

現状

町会の区民消火隊員 33 名が「機能別団員」として活動

主な任務

区民消火隊に対する指導及び防火防災訓練指導

効果

C 級ポンプ取扱要領や初期消火要領を消防署で学び、区民消火隊にフィードバックし、区民消火隊内でリーダーシップを発揮することを目的としている。また、機能別団員の活動が団員の負担軽減につながっている。

2

現状

12 名が「機能別団員」として活動しており、うち 2 名は広報を専門として活動

主な任務

防火防災訓練指導、応急救護訓練指導、警戒活動、団員教育、広報活動

効果

広報を任務とする団員活動では、分団によるホームページの開設や Facebook を活用した消防団広報を推進し、入団促進に大きく貢献している。

3

現状

看護学校学生 3 名と元団員 3 名の計 6 名が「機能別団員」として活動

主な任務

防火防災訓練指導及び応急救護訓練指導

効果

学生団員の活動は応急救護訓練指導に限定し、看護学校で学んでいる内容が活かされている。また、都民の前で説明する経験は本人の成長にも繋がっており、分団内においても団員の負担軽減が図られている。 15

機能別団員の拡充例

4

現状

販売員 5 名が「機能別団員」として活動

主な任務

広報活動

効果

普段販売している地域やお客さんに対して募集活動を行い、販売員という職種を活かした活動を実施している。

また、広報活動に専念することで、分団内においても団員の負担軽減が図られている。

5

現状

元団員が再入団し、5 名が「機能別団員」として活動

主な任務

団員指導（アドバイザー）

効果

消防団全体での訓練や新入団員に対する教育訓練の指導者（アドバイザー）として活動している。また、元団員であることから、消防団活動において経験豊富な方が多く、その知識や経験を次世代に伝える等の活躍の場があり、「指導員」という役割を与えられることから、機能別団員として再入団しやすい環境が整えられている。

退団への対策 定年延長

知識・経験が豊富である消防団員の活動を継続してもらい、退団への対策を図る。

定年については、条例、規則等に定めはなく、各消防団の内規等で定められている。

定年を定めている消防団・・・48団

(70歳 14団、71歳 1団、72歳 9団、73歳 6団
74歳 5団、75歳 12団、76歳 1団)

定年を定めていない消防団・・・10団 (R2.10.1現在)

(例)

- ・ 70歳⇒73歳
- ・ 副分団長以下に限り、70歳を73歳に延長

退団への対策 機能別団員の活用

C 消防団

本人の意向を確認したうえで、退団予定者に在団への声掛けを実施し、退団への対策を実施している。成果として今年度退団予定の団員が機能別団員（教育担当）として在団予定である。

D 消防団

退団予定であった団員が定年延長を実施し、機能別団員（防火防災訓練指導、応急救護訓練指導）として活動している。

広報 ①Tokyo消防団の日

消防団のPRや募集活動を実施し、広く都民に消防団を紹介していくため、平成20年11月一般社団法人東京都消防協会において制定

「Tokyo消防団の日」・・・毎年1月15日

主な取り組み

- ・ 1月15日を中心として一斉声掛けキャンペーン
- ・ 音楽隊ラッピングバスによる都内幹線道路の走行
- ・ 大学キャンパスでの広報
- ・ マスコミを活用した広報



広報 ①T o k y o消防団の日



広報 ②統一した募集ロゴの活用

消防団に対するイメージを定着させるとともに、消防団員のイメージアップと魅力ある消防団づくりとして作成



広報 ③令和2年度募集ポスター



**東京を守るのは、
あなただ！**

TOKYO SYOBO ACTION

消防団員募集

入団資格 お問合せはフリーダイヤル または最寄りの消防署まで
•18歳以上の健康な方 •23区内に居住・勤務・通学している方
東京消防庁 特別区消防団への入団に
関するお問い合わせは▶ ☎0120-119-588 (上・日・朝10時～18時)

東京消防団員あがもがもしています。
まずはWebサイトにて
詳細をご確認ください
東京消防団 検索
<http://tokyo25city-syobodan.jp/>

広報 ④対象別リーフレット



一般用

女性用

学生用

事業所用

<令和2年度のポスター・リーフレットデザインを活用した事業>

- ・新聞折込広告
- ・ポスティングチラシ
- ・インターネットバナー広告

今後の取組

- ・機能別団員の全団導入
- ・大規模災害団員の導入
(令和3年4月予定)
- ・募集広報の拡大



おわり



消防団員募集



入団資格

18歳以上の健康な方

消防団の区域に居住・勤務・通学している方



<https://tokyo23city-syobodan.jp/>

東京消防団



詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。



0120-119-588

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。